

(別記様式) 令和6年度 京都府立宇治支援学校 学校経営計画(スクールマネジメントプラン)年間(計画段階・実施段階)

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>◆教育理念「喜びはともにあること」のもと、教育目標「よりよく生きる力をはぐくむ」を実現するための各学部段階の教育に繋がりをもたせ、学校全体で進める。</p> <p>◆児童生徒が、地域社会に貢献し、地域社会で幸せに暮らすことができるよう、地域や保護者とともに本校の教育を進める。</p> <p>◆京都府スーパーサポートセンター(以下SSC)の機能を生かし、各地域支援センターや各教育局、総合教育センター等と連携し京都府内全域の特別支援教育を進展する。</p>	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「風通しのいい学校経営」に向けて、全校で情報共有等が進んだ。 ・新型コロナに関わる扱いが変更となる中、状況に応じて感染対策を行いながら教育活動を充実させた。 ・アイデア集を提示したり、日常的に時間を意識して効率化を図ったりして、時間外勤務を削減できた。 ・専門家チーム委員を活用した相談研修支援の実施等、専門的で実践的な研修を提供できた。 ・各教科の見方・考え方について学び、授業作り、改善、評価に生かすことができた。また、全校授業公開の取組を実施できた。 ・教育課程検討会議を中心にカリキュラム・マネジメントを進めることができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有のさらなる徹底 ・働き方の観点から見た教育課程改善 ・防災教育・避難訓練の充実 ・全校授業実践でのICT活用の推進 ・指導すべき課題を明確にした自立活動の実施 	<p>【学校機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しなやかな心をもって働く教職員」 社会状況や教育の変化に柔軟に対応し、何事にもチャレンジし前向きに取り組む。同僚性を高め、適切なコミュニケーションを取り、常に相手を理解することを心掛ける。 ・「地域社会に貢献し、幸せに暮らすことのできる児童生徒」を育成する学校づくり ・保護者・地域とともにある学校づくり ・特別支援学校の教員としての資質向上にむけた取組の実施 ・防災教育、避難訓練の充実 <p>【教育課程検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程検討会議を中心とした教育課程改善 ・個々の児童生徒の的確な実態把握に基づき指導すべき課題を明確にした自立活動の実施 <p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に沿った教育活動の実施(資質・能力の育成) ・指導と評価の一体化による、よりよく生きる力を育む組織的な授業作り、授業改善 ・全校授業実践でのICT活用の推進 <p>【働き方改革】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方の観点から見た教育課程改善の実施 ・業務におけるICTの活用の拡大(Teamsの活用等) ・過ごしやすい職場環境づくりに向けた職員全員での取組

	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	・適正で風通しのいい学校経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部等による学校経営方針を具現化するマネジメントの実施 ・学校運営に関する情報の全校共有 ・整理整頓を心掛け、物品の管理等を確実に言い、過ごしやすく仕事をしやすい職場を作り推進 ・「いじめアンケート」「いきすぎた指導アンケート」の実施、人権研修の実施等による児童生徒や教員の人権を尊重する教育の推進 ・教職員と連携した、効率的、効果的な事務室の運営 ・働き方の観点から見た業務の見直しと働き方の検討、教育課程改善の実施 		
	・人が育つ研修会等の計画的推進	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者を中心とした教員への計画的な研修を実施し、研究授業に関わる多くの教員の力量が向上する、チームで取り組む授業改善を推進する ・スクールカウンセラー、まなびアドバイザー等を活用した研修会の実施 		
	・SSCによる京都府全域における各地域、学校園等の支援力、指導力向上の為の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・府専門家チーム委員を効果的に活用した相談支援、研修支援の充実 ・新しいSSCの役割の明確化と、高等学校支援における新たなシステム作り 		
	・地域と連携した支援力	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委等と連携した組織への効果的なアプローチの充実 		

	向上に向けた組織的な取組の推進	・高等学校やSSCと連携した学校コンサルテーションの実施			
	・ 地域とともにある学校経営の推進	・HP、学校だより、掲示板等を活用した学校情報の発信(10回/月) ・保護者や地域の方々からの意見を踏まえた教育実践の推進 ・学校運営協議会を活用した外部評価の実施			
	・ 安心安全を具体化する取組の推進	・児童生徒が安心、安全に学校生活を送れる取組の確実な実施(通学、給食、保健、衛生、アレルギー対応等) ・避難訓練と防災教育の充実、緊急対応訓練(年3回)の計画的実施 ・情報共有や医療的ケアヒヤリハット事象の共有による安全な医療的ケアの実施			
教育課程・学習指導	・ 授業改善の推進	・学びの連続性を意識した各学部における教育課程の改善 ・指導と評価の一体化による児童生徒のよりよく生きる力をはぐくむ授業作り、授業改善と全校授業公開の実施 ・教育課程検討会議を中心としたカリキュラム・マネジメントの推進 ・流れ図等を活用した的確な実態把握に基づき指導すべき課題を明確にした自立活動の実施 ・ICTを活用した授業の推進 ・社会とのつながりを意識した地域学習の積極的実施 ・居住地校交流及び学校間交流の充実 ・読書活動の推進に向けた「うじライブラリー」活用の充実			
	・ 個々の生徒に応じた希望進路の実現	・進路指導部を中心に総括主事、コース長、学級担任と連携した進路指導の実施 ・希望進路の実現を見据えた実習先、就労先新規企業開拓の実施 ・希望進路実現に向けた保護者への情報提供、研修会の実施			・
	・ 学習の土台となる生活基盤の確立に向けた修学支援の実施	・児童生徒の生活基盤確立に向けた適切な実態把握とケース会議の実施 ・生徒指導対応委員会と各学部の連携による不登校の児童生徒の把握や適切な生徒指導の実施			

学校関係者評価委員会による評価	
-----------------	--

次年度にむけた改善の方向性	
---------------	--